

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	COVID-19患者における緊急気管挿管
研究責任者	牧 賢郎
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	重症コロナウイルス肺炎患者の治療に不可欠な気管挿管を救急医が躊躇なく行うために、日本、特に首都東京の総合病院でコロナウイルス肺炎患者に対して救急医が緊急気管挿管した際の成功率、合併症、施行医の安全性などの詳細を明らかにすることを目的とします。 調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年10月31日までの予定です。
研究方法	2020年1月1日から2020年5月31日までの期間に、咽頭ぬぐい液または鼻咽頭ぬぐい液のPCR検査で新型コロナウイルス陽性であることが確認された患者のうち、病棟、救急外来で救急医が気管挿管した患者を対象に、気管挿管成功率を主要評価項目とし、4施設(聖路加国際病院、国立国際医療センター、東京医療センター)合同で後ろ向きに検討します。研究対象となる患者のデータは各施設の研究責任者が匿名化を行いデータ収集フォームに記載し、原則として郵送あるいは手渡しのいずれかの方法で基幹施設の当院宛に提出することにより収集します。なお、電子メールによる個人情報のやりとりは行いません。研究への参加を希望されない方はご連絡ください。なお、研究への参加を希望されなくても、不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：牧 賢郎 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604